

いのちの授業【英語科】学習指導案

指導者 T・M

1. 本時の指導

- (1) 題材 違いを尊重することの大切さ～大切にしているものから世界を見つめる～
- (2) 目標 「さまざまな国々」やそこに暮らす人々の「多様な価値観」があることを知る。また、世界には様々な問題を抱えながらも一生懸命に生きている子どもがいることを知る。(英語科)
多様な価値観があることを受け入れ、今の自分たちにできることを考える。そこから違いを尊重することの大切さを感じる。(いのちの授業)
- (3) 指導過程

	学習活動	主な発問()と指示()	指導上の留意点(・)と評価()
導入	世界の子どもの大切にしているものを知り、「世界」に触れる。	今みなさんの大切にしているものは何ですか。 ワークシートに書いてみましょう。 世界の子どもたちはどんなものを大切にしているのでしょうか。 プリントを見てみましょう。そして、他の国の子どもたちが大切にしているものを読み取ってみましょう。	・考える時間を与え、記入させる(発表) ・英文を提示する ・教科書の文だけでなく、原作からも取り上げ、多くの国や地域に触れる機会を与える。
展開	自分たちのものと比較し、その理由や背景を考える。	この子どもたちにとって「山、学校、街、木」が大切なものなのはどうしてなのでしょう。 これは何をしている写真でしょうか。 どうしてこの子どもたちはこのような生活を送っているのでしょうか。	・それぞれの国について説明する。その国や地域が抱えている問題、文化を紹介する。(異文化理解) ・ストリートチルドレンの写真を提示し、説明する。ストリートスクールについても触れる。 様々な国、そして多様な価値観があることを理解しているか。
まとめ	多様な価値観をもつ子どもが存在していることを理解し、今の自分たちにできることを考える。	今彼らのために、みなさんには何ができるでしょうか。	・立場をおきかえて考えさせる。 ・時間があったらユニセフやユネスコの活動の紹介もする。
いのちの授業のまとめ	今の自分が大切にしなければならないことを考える。 さらに、違いを尊重することの大切さについても考える。	今大切にしなければならないことは何でしょう。	・『今大切にしているもの』と比較 ・身の回りにも多くの「違い」が存在していることに気づかせ、その違いを尊重することの大切さを伝える。

- (4) 評価 世界には様々な国や多様な価値観があることを理解できたか。
他者が自分とは異なる価値観を持ち、自分とは違う何かを大切にしているのだと知ることを通して、多様性を受け入れ、違いを尊重することの大切さを感じることができたか。